

科目名称：	クラウドサービス演習	
担当者名：	矢澤 建明	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
近年、クラウドサービスは加速度的に発展を遂げています。いわゆるストレージサービスのみならず、各種サービスもクラウド上で使うことが当たり前となってきました。特にGoogle社のサービスは、利便性が高く、これを使いこなせれば、今後どのようなサービスが出てきても対応ができるでしょう。また、拡張解釈をすると、SNSもクラウドサービスとみなすことができます。現代社会では、SNSの利用がビジネスにも利用されるようになってきました。本授業では、学生用Googleアカウントを利用して、各種クラウドサービスを実践的に使いこなせるようになることを目的とします。		
授業の達成目標・到達目標		
Google社のクラウドサービスや各種SNSを実践的に使いこなすことができること。 ビジネスシーンに利用できるよう活用方法を見出すことができる。 各種SNSを使いこなすことができること。 効果的なビジネス利用を見出すことができる。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP (2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP (3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)			30	70	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容 1》	《経験年数 1》
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》
備考		
特殊な事情により、対面授業ができない場合、「オンライン上で映像を視聴してもらう」、「テキストデータ・画像データを使って学生からの授業内課題・次回まで課題を提出する」、「学生同士がテキストベースで質問・議論しあう」という、教室外での授業実施を行うことがある。		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
クラウド技術に対する理解	現代のクラウド技術に対して好奇心を持って理解し、他者に説明することができる。	現代のクラウド技術に対して興味を持って理解している。	現代のクラウド技術について、とりあえず理解している。	現代のクラウド技術に対して無関心である。
クラウドサービスの活用	クラウドサービスをまったく問題なく扱うことができ、かつ他者に説明することができる。	クラウドサービスを使いこなすことができる。	クラウドサービスについて、なんとか使いこなすことができるものの、他者に説明することができない。	クラウドサービスを扱うことができない。
SNSの活用	SNSをビジネスシーンで活用することができ、かつ他者に説明することができる。	SNSをビジネスシーンで活用することができる。	SNSをなんとか活用することができるが、他者に説明することができない。	SNSを活用することができない。
クラウド技術を利用しようとする力	授業で得た知識を使い、クラウド技術やSNSを利用するだけでなく、他者に説明することができる。	授業内容で得た力を使い、クラウド技術やSNSを利用できる。	よく理解しないまま、クラウド技術やSNSを利用している。	クラウド技術やSNSに対して、的確な利用ができない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回	各種クラウドサービス（Google、SNS等について）	本シラバスを精読しておき、本演習の概観を頭に入れておくこと。	20分
第2回	ストレージサービスの利用（Google Drive、Dropbox、Onedrive）	ストレージサービスについての課題。	20分
第3回	Google form によるアンケート収集（授業内でディスカッションをしながら、演習を進める）	Googleフォームについての課題。	40分
第4回	Google form とプログラミング（授業内でディスカッションをしながら、演習を進める）	授業内で作成したGoogleフォームを学生間で利用する。	40分
第5回	ドキュメント	授業内で作成したGoogleフォームを時間で提供・終了をするプログラミングを行い、学生間で利用する。	40分
第6回	スプレッドシート	Googleドキュメントについての復習課題。	40分
第7回	ミーティングによるオンライン会議 1	Googleスプレッドシートについての復習課題。	40分
第8回	Zoomによるオンライン会議 1	ミーティングについての復習課題。	40分
第9回	Zoomによるオンライン会議 2（授業内でディスカッションをしながら、演習を進める）	Zoomについての課題。	40分
第10回	YouTube (1)	YouTubeについて調べておく課題。	40分
第11回	YouTube (2)（授業内でディスカッションをしながら、演習を進める）	簡単な動画制作。	40分
第12回	YouTube (3)（授業内でディスカッションをしながら、演習を進める）	YouTubeでの限定公開。	40分
第13回	各種SNS (1)	各社SNSについて調べておく課題。	40分
第14回	各種SNS (2)（授業内でディスカッションをしながら、演習を進める）	各種SNSのビジネス活用。	40分
第15回	クラウドサービスまとめ	総まとめの課題。	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題をGoogle Classroomに提出することになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業内では、クラウドサービスの利用・提供といった作業をグループで行います。これらの活動状況を40%、演習課題・実技演習を30%、事前事後学習課題30%を考慮して判断します。
課題に対してのフィードバック
授業内演習課題については、コメントでフィードバックする。提出課題は、チェックポイントを記入の上、返却する。
教科書・参考書
なし